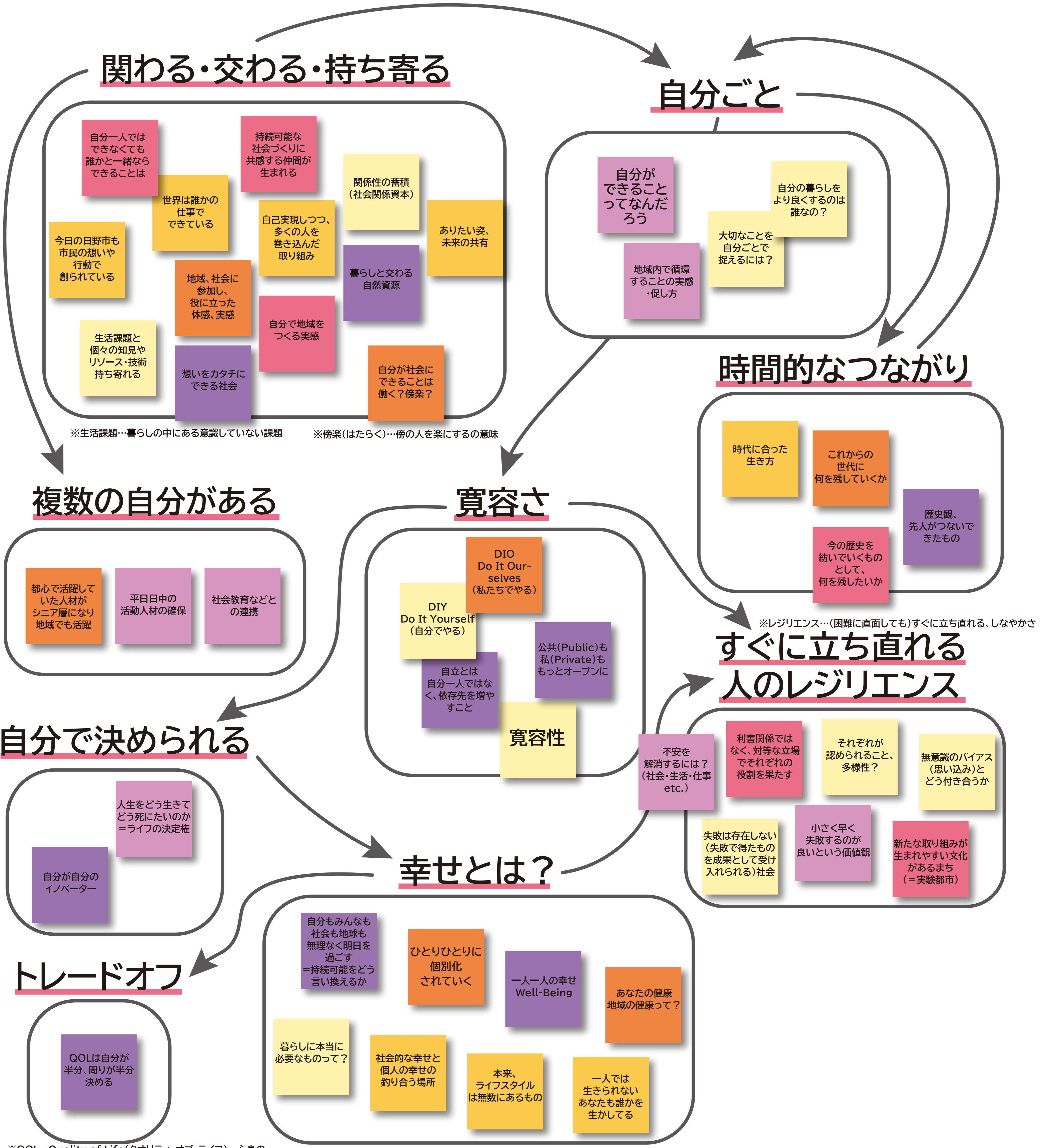


1. 2030年に向けたコンセプトのアイデア・まとめ

! 2030ビジョンを考えるにあたって、職員有志でたたき台となるコンセプトを作成しています。このシートでは、現在行われている事業や計画、さまざまな人の声をベースとしつつ、全体を俯瞰した時に、2030年の日野にとって重要だと考えるキーワードを抽出しています。ぜひ、付け足しの意見や共感したポイントなどを教えてください！



※QOL=Quality of Life(クオリティ・オブ・ライフ)…心身の健康や活力、生きがいなども含めた総合的な生活の質

ほかにも、こんなことが話されています。

- ・ 市民目線としてもそうだし、自分で理解して説明できるようにしたい
- ・ 「つながりが必要」というが、普段仕事もしている中で、自分ひとりだと地球のことや地域のこととは考えない
- ・ つながりを実感してもらうために何が必要だろうか？なぜつながることが必要なのだろうか？
- ・ (つながりの議論)自分も他人も、一人だけでは生きられないからではないか
- ・ (意識していないが)自分の生活をよくするために人の力(仕事・サービス)を借りている
- ・ 自分も自然と誰かに関わっているし、関わらないで生きるの難しい
- ・ ボランティアだけではなく、もっとゆるい地域や社会への参加があっても良いのでは？
- ・ 自分と他人のつながりが断ち切ることができない中で、自己実現とまちの実現をどう図るか。
- ・ 自己の要望・要求があっても、社会的・道徳的に見て「これくらいいいか」と自己解決することも必要なのでは
- ・ 未来に自分がどうなっていたいか
- ・ 一人一人の幸せは違うし、個人化されている
- ・ 失敗しても許される、生きられる
- ・ 自分も色んな人に出会って日野が好きになった
- ・ 市民や職員も日野のことをもっと知ってほしい(体感できることが大事)
- ・ ワークショップなので不安をあげてもらおうのどうか、解消してもらいながら
- ・ 社会の課題はわかるが、イコール個人の課題にはならない
- ・ 自分で何か変えていく、自立できるには？
- ・ (自立の議論)自立とは「一人で立つこと」だけではないはず

2. “これまで”と”これから”の視点の組み合わせ



これまでも日野市は「2020プラン」を推進してきましたが、10年以上経過する中で新たなテーマを盛り込む必要があります。“これまで推進してきた視点”に、「1.2030年に向けたコンセプトのアイデアまとめ」において、職員有志の中で共感すると思った4つの付箋が示す内容を吟味し、2030年に向けて必要となる視点として文言を整理した“これからの視点”を掛け合わせ、ビジョンに盛り込む視点を検討しました。

“これまで”
の視点

“これから”
の視点

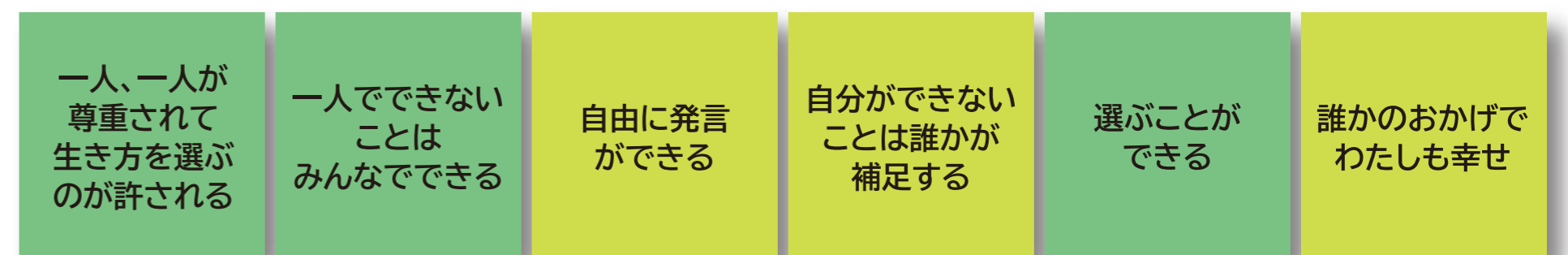
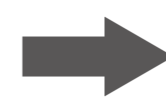
日野市第5次基本構想・基本計画

2020プランの7つの柱

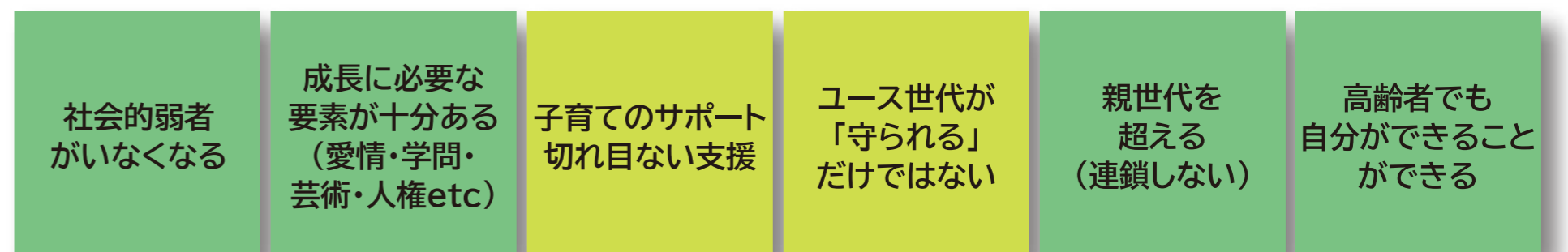
×



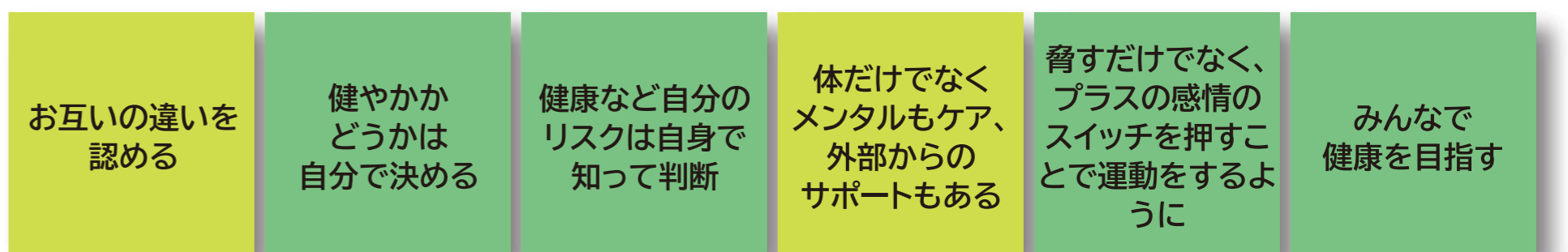
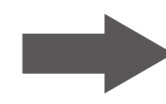
1.参画と協働のまち



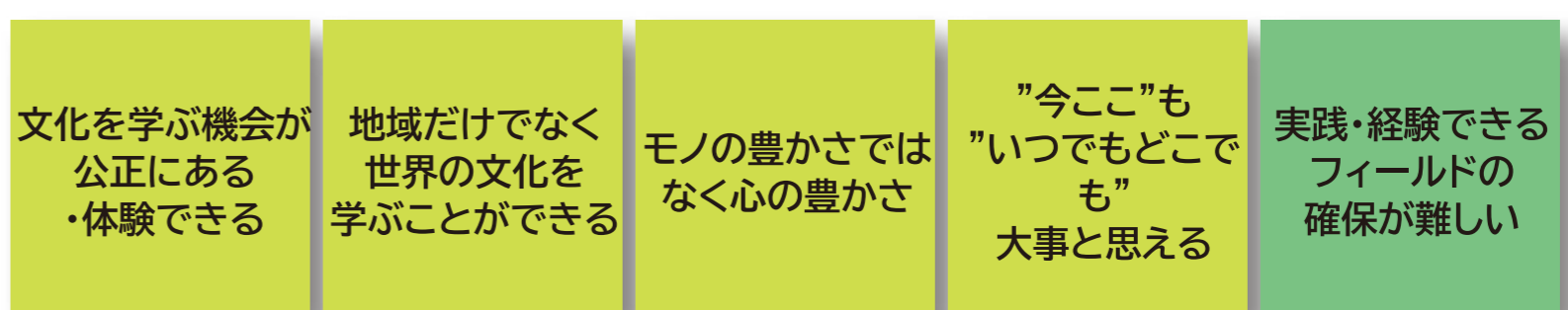
2.子どもが輝くまち



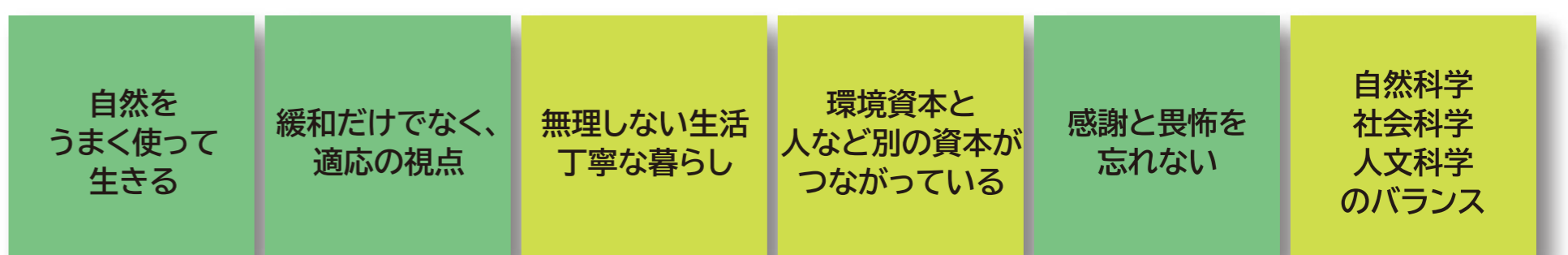
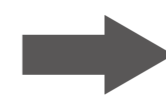
3.健やかでともに支え合うまち



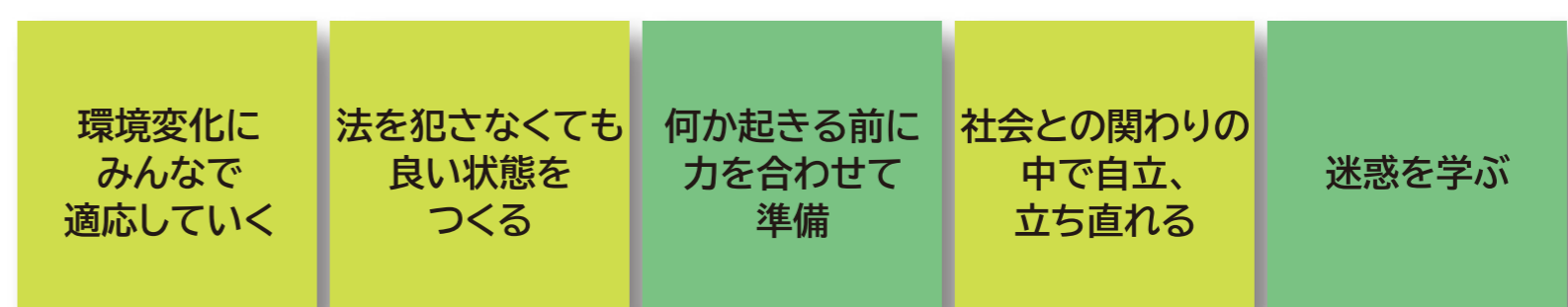
4.日野人・日野文化を育てるまち



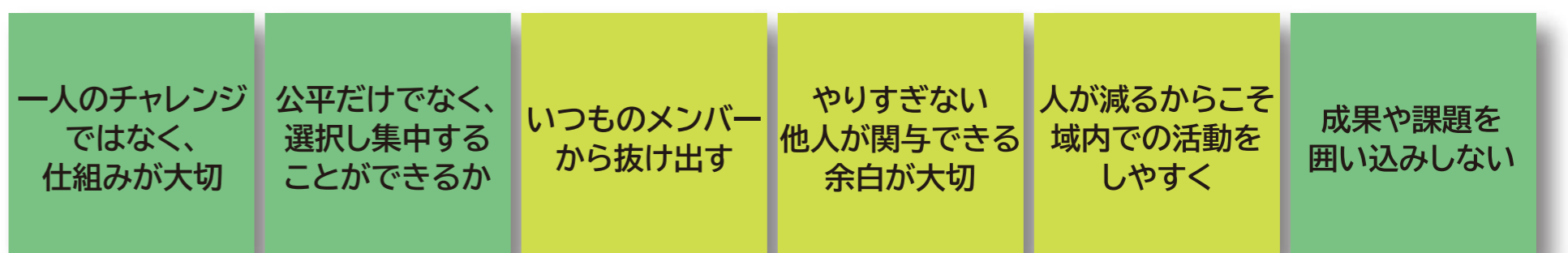
5.自然と調和した環境に優しいまち



6.安全で安心して暮らせるまち



7.地域の魅力を活かした活力あるまち



ほかにも、
こんなことが
話されています。

- ・ ナッジなど危険性や機会損失を伝えながら育すことで行動を促す仕組みがあるが、危機感だけでは動かないのでは
- ・ 危機感以外のプラスの感情、例えばモチベーション・キレイになりたいなどが人間的、自分ごと化されている
- ・ 自ら学ぶはキーになるかもしれないが、何があると学びになるのだろうか？
- ・ 感情が動くときに学べたという喜びがあるのでは
- ・ 楽しさ、悔しさなど実体験をもって体験できる時も重要では
- ・ 2030年、2050年に向けて、どんな人が育つとよいのだろうか
- ・ 健康に関しては、人間としての健やかさを目指す仕組みがあることは重要
- ・ 仕事や人材の面では既に人手不足感がかなり強いので？どの組織も大なり小なり無理している
- ・ 続けること、継続率の視点がより重要になってくるのではないか
- ・ 今後、仕事をしながらケアする人が家庭内に増えてくるのでは
- ・ プロへの支援だけでなく家庭でケアする人をケアする視点が重要になってくる
- ・ さまざまな居場所が必要といわれるが、居場所をつくるのが目的となりやすい
- ・ 居場所も含めてメンタルケアとして包括的には捉えていくべき
- ・ 大きな変化はとめられない、とめようとする場合のコストが課題となる
- ・ 環境面や社会面の変化に対して適応していくことが重要